

認知症共生社会に向けた製品・サービスの 効果検証事業

2021年3月25日

株式会社日本総合研究所

事業の概要

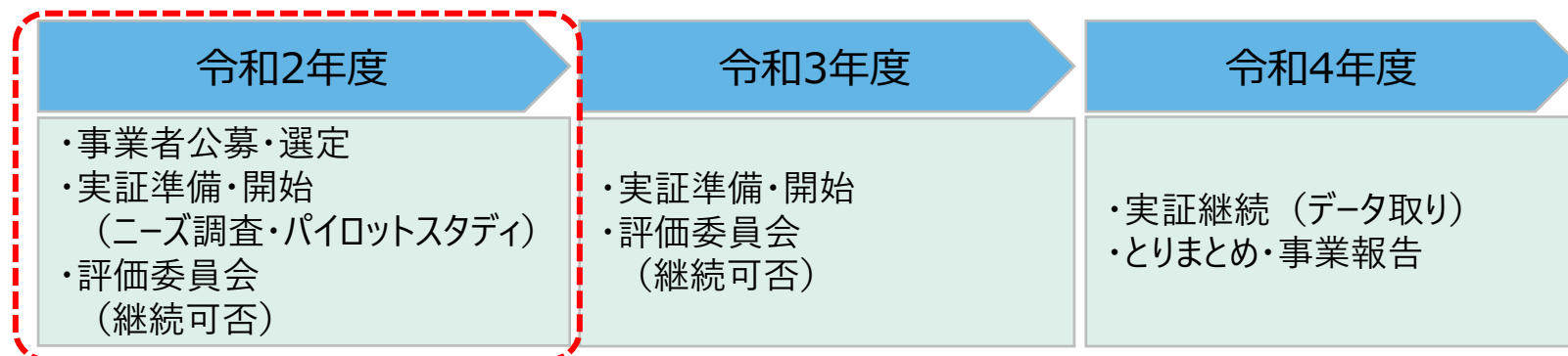
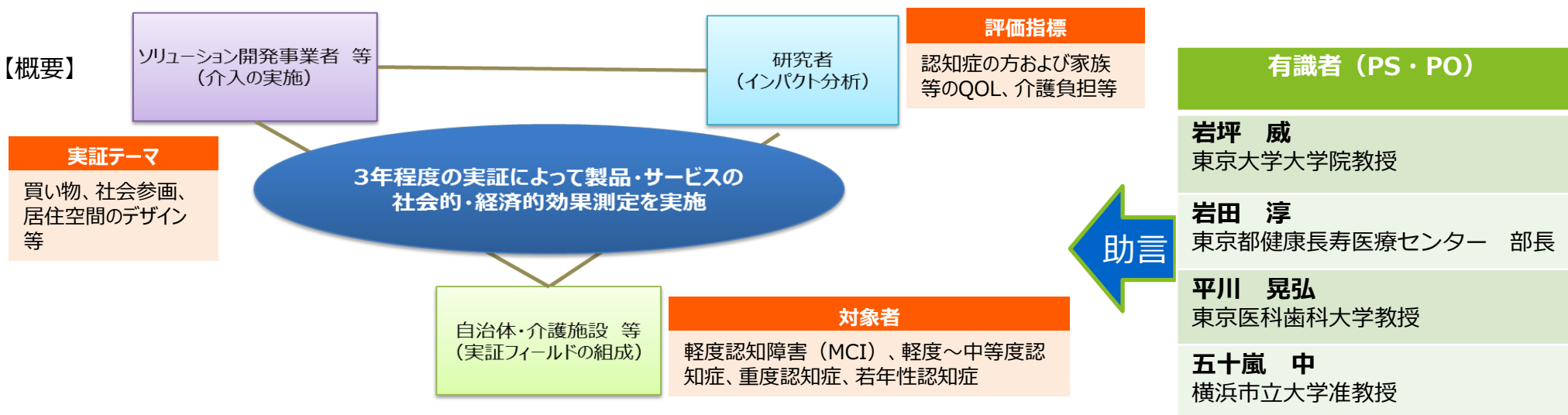
認知症の社会コストが増大する中で、認知症との共生に資する質の高い製品・サービスの開発・普及が重要。

本事業では、買い物や移動等の**生活課題**をテーマに、事業者が**介護施設や自治体等を実証フィールド**とし、

①本人や家族への影響、②経済的・社会的なインパクトの両面から分析を行う**研究機関と連携**し、
3者でコンソーシアムを形成し、効果検証事業を行う。

認知症や統計学の有識者（PS・PO）による助言を受け、各事業の改善を図りながら、事業推進中。

【概要】



事業の特徴①事業者と実証フィールドとのマッチング

効果検証に当たっては、協力先となる実証フィールドの確保が重要であることから、応募意向のある20団体に対して、正式公募に先立って、実証協力先確保のためのマッチング機会を提供。マッチング成立後に体制を組成して、正式に応募してもらう形をとった⇒実際複数ケースのマッチングが成立。

実証協力先の拡充を図る応募団体と、
「共生ソリューション」の実証に協力意向のある自治体・事業者のマッチングを実施

応募団体

認知症共生に向けた製品・サービスの効果検証実証を計画する20団体

1団体当たり15分程度で、ソリューションの概要や実証計画、協力先への要請事項をプレゼンテーション

マッチング

フィールド候補

認知症共生に向けた製品・サービスの効果検証に協力意向のある団体

5自治体
13法人・団体（大学等含む）

事業の特徴②各プロセスでの本人の参画

「認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証」という事業主旨に鑑み、応募、審査、事業実施の各団体で、本人との対話や本人の声を取り入れながら、事業を推進中。特に、応募団体の多くが、医療・介護等を専門としない企業・団体であることを踏まえ、「認知症の人本人と接する」機会や「認知症について知る」機会を多く設けている。

応募段階

応募団体の20団体に対して
「本人の声を聴く」
ワークショップ実施

審査プロセス

応募された製品・サービス
について
日本認知症本人ワーキング
の本人からご意見をいただき、
審査に活用

事業実施

採択団体11団体、
それぞれのフィールドで
本人との対話を重ねながら
製品・サービスを改善・改良

採択団体11団体に
対する
「本人との対話」
に関するワークショップ

事業継続審査

応募された製品・サービス
について
日本認知症本人ワーキング
の本人からご意見をいただき、
審査に活用

令和2年度 採択団体一覧

令和2年度は、以下の11団体を採択し、事業を推進。

事業者名		本人の参画・協力
株式会社エクサウィザーズ	「在宅介護」及び「移動・外出」のための総合支援サービス（仮称）	福岡市、鎌倉市、天理市等協力自治体を通じて協力者募集
NECソリューションイノベータ株式会社	オンライン旅行サービス「Trip for EveryOne」（仮称）	エムダブルエス日高、パナケア真中などデイサービス利用者が協力
株式会社 オールアバウト	MCI・認知症対応型趣味教室 （取得した技能を活かした社会参加・就労機会含む）	大和市、福岡市、NPO法人ともつく、 家族の会等が協力
一般社団法人 恩送り	テレプレゼンスシステム「窓」による遠隔「ご縁つなぎ」サービス	銀木犀ほか、サ高住、老人ホーム入居者が協力
株式会社くまもと 健康支援研究所	認知症への備えと地域共生に向けた「つながる・支えあう」サービス効果検証 ～社会的処方Kagoshima つながるプロジェクト～	鹿児島県下のもの忘れ外来受診、スーパー等生活の場から協力者募集
株式会社 シルバーウッド	高齢者住宅「銀木犀」における認知症がある高齢者への就労機会の提供	銀木犀入居者へのインタビュー等
社団法人セーフティ ネットリンケージ	みまもりあいプロジェクト：「地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）」	家族の会、京都府立医大等を通じて協力者募集
総合警備保障株式会社	認知症にやさしい異業種連携サービス	京都府、府下自治体等を通じて協力者募集
株式会社ベネッセスタイルケア	そのかたとみんなで作る認知症ケアメソッド	同社のホーム入居者
株式会社マイヤ	認知症になってもやさしいスーパー・プロジェクト	家族の会岩手県支部等を通じた協力者募集
株式会社メディヴァ	病院における環境デザイン、ケア、経営の3つの視点による「認知症対応包括プログラム」	入院経験のある当事者へのインタビュー等

製品・サービスの例 ①MCI・認知症対応型趣味教室（オールアバウト）

**「できない事は手伝って、出来ることは奪わない」考え方に基づく、
MCI/認知症になっても安心・継続して楽しめる、趣味講座開発・開催 & 社会参加・就労機会づくり**

- ご本人に加え、MCI/認知症の専門家である東京都健康長寿医療センター・京都橘大学と共にMCI/認知症の人に寄り添える趣味講師の養成と、認知症になっても楽しみながら継続できる趣味講座を開発・開催します
- 趣味や学んだ技能を活かした、認知症以外の人も含めた社会参加の機会を用意。就労機会創出も目指します



解決したいこと

家族以外の社会との
コミュニケーションが減ってしまう

いままで楽しみだった
趣味等ができなくなってしまう

介護者がなかなか自分の
時間を持てなくなってしまう

認知症の進行を
なるべく予防・遅延をしたい

製品・サービスが行うこと

趣味講座の開発

MCI/認知症になっても
楽しみながら継続でき、
出来栄と難易度を調整
した講座を開発

講師の養成

「できない事は手伝って、
出来ることは奪わない」
考え方に基づき、寄り
添える講師を養成

趣味講座の開催

ご自宅、高齢者施設
や地域拠点等で参加
できる趣味講座を開催

社会参加・就労機会

発表会/展示会等、
趣味や学んだ技能を活
し、認知症以外の人も
含めた交流機会を用意

メリット

認知症になっても、安心・継続
して楽しめる趣味に出会えます

社会に参加したり、認知症以外の
人と接するきっかけがうまれます

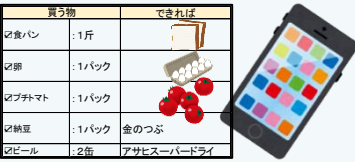
本人が趣味の時間を持つことで
介護者の自分の時間が増えます

社会参加と知的活動の継続は
認知症予防効果が期待できます

製品・サービスの例 ② 認知症になってもやさしいスーパー・プロジェクト (マイヤ)

製品・サービスの概要

- 私たちは、認知症の人が、「日用品の買い物」を楽しみ続けることができる、スーパーをつくることを、目指します。
- 岩手県滝沢市にある店舗で取組んできた、「認知症になってもやさしいスーパー・プロジェクト」を軸にして、3つの取組みを拡げるために事業を行っています。

製品・サービスの分類	製品・サービスの提供価値
◇スローショッピングとパートナー活動の導入 	・株式会社マイヤにおけるスローショッピングおよびパートナー活動を 7 店舗へ導入 〔店舗職員〕 ・来客からの相談、必要に応じたサポート 〔パートナー（ボランティア等）〕 ・店舗内での相談、サポートの実施 ・地域住民、認知症の人等の地域参加、ボランティア機会の創出 
◇支援アプリの開発・導入 	・購入実績リスト、購入予定記録の作成（買ったもの、買いたいものを確認） ・家族等との連絡、相談 ・支払い額の確認（安全に自分で決めた額を使う） ・相談しやすい返品・返金
◇店舗・サービスのバリアフリー化	・案内表示等の整備 ・商品の配置、照明・音等 ・あんしんトイレの改修 ・くつろぎサロン ・店舗までの移動支援   

製品・サービスの例 ③病院における環境デザイン、ケア、経営の3つの視点による「認知症対応包括プログラム」(メディヴァ)

入院は高齢者にとっては避けられないことであり、認知症に優しい入院環境が求められている

背景

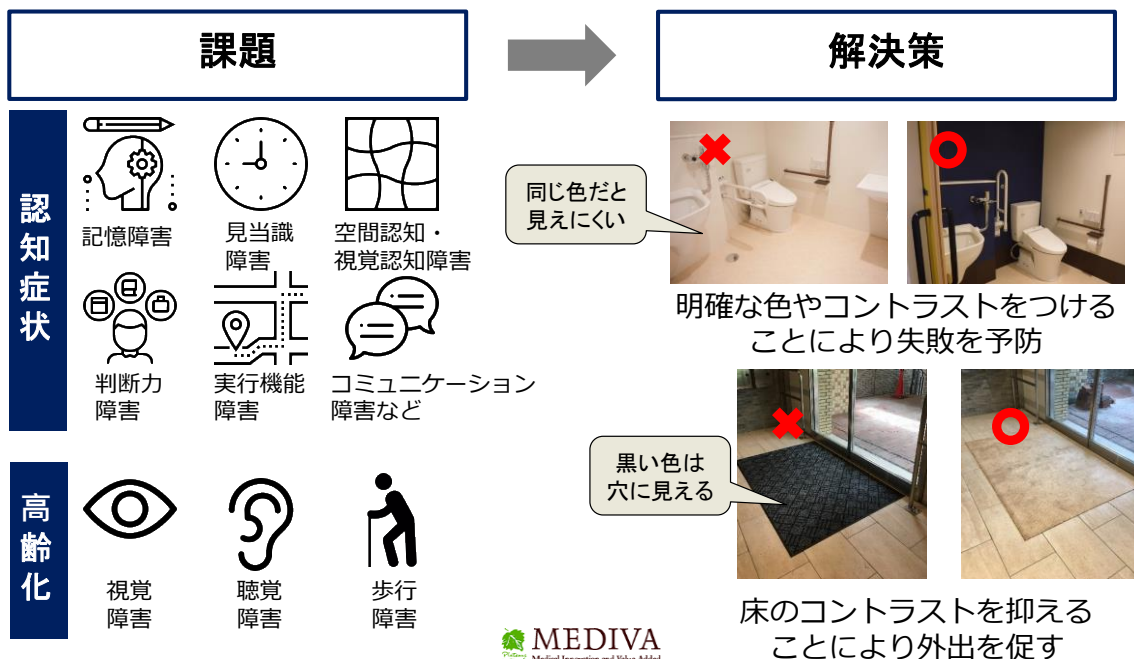
- 1. 社会：**高齢化の進展により、認知症をもつ高齢者の入院割合が増加している。
- 2. 入院：**ADL、QOL悪化の大きな要因。認知症の方には大きなリスクが存在。
- 3. 病院：**認知症患者に対する適切な環境が十分に整備できていない。

影響

- 1. 認知症当事者：**①せん妄、認知症の進行、BPSDの悪化
②身体機能、ADL・QOL低下
③その結果として、退院調整難航、自宅復帰困難
- 2. ご家族・介護者：**退院後の介護負担の増加
- 3. 医療従事者：**業務負担感とストレスの増大、離職率の増加
- 4. 病院：**認知症患者受け入れ消極化、組織や経営の不安定化

「人的資源」(看護師等)だけに頼らない『環境』によるソリューション

認知症高齢者は、自分らしい生活を阻む特有の課題があり、科学的根拠に基づいた「認知症デザイン」により課題を補うことができる。



出所：東急不動産、医療法人社団プラタナス提供資料からメディヴァ作成

MEDIVA
Medical Innovation and Value-Added

Copyright © Mediva Inc. All Rights Reserved.